



corega Ether PCC-TL 取扱説明書 (Windows NT 4.0 編)

はじめに

本製品のドライバーを Windows NT 4.0 にインストールする手順を説明します(ここでは、ネットワークアダプタ用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない状態でのインストール手順を説明します)。なお、ここでは Windows NT 4.0 Workstation を使用し、Windows NT からの問い合わせに対しては基本的にデフォルトで答えるものと仮定します。

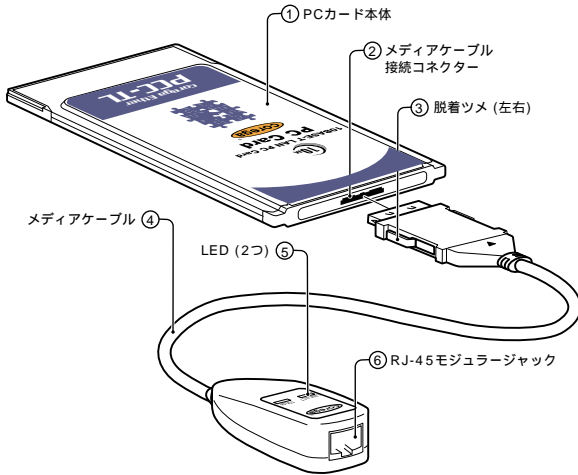
本書に記載されている内容は以下の通りです。

はじめに.....	1
各部の名称と働き	2
設置・接続	2
PC カードの挿入・取り外し.....	4
インストール時のご注意	4
用意するもの	4
ドライバーの新規インストール.....	5
インストールの確認	15
ドライバーの削除	16
本製品を一時的に使用しないとき	17
ドライバーの再インストール	17

各部の名称と働き

本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

表面



PC カード本体

パソコンの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

メディアケーブル接続コネクタ

「メディアケーブル」を接続します。

脱着ツメ

メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。必ずこのツメを持ってメディアケーブルの脱着を行ってください。

メディアケーブル

PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

LED

次の 2 つの LED があります。

LINK (緑): 対向機器と正常にリンクが確立されると点灯します。

ACT (緑): データの送受信時に点滅します。

RJ-45 モジュージャック

UTP ケーブル (シールドなしツイストペアケーブル) を接続するコネクタです。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。

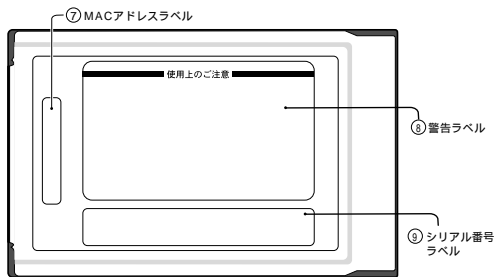
警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください (残る 2 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

裏面



外観図

設置・接続



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分 (水道の蛇口、ドアノブ等) に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。



本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。



スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品や UTP ケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行、復帰状態への移行につきましては、サポート対象外とさせていただきます。



稲妻が発生しているときは、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。

1. 本製品をパソコンの PC カードスロットにしっかりと挿入します。
2. UTP ケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品の RJ-45 モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込みます。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。



UTP ケーブル (シールドなしツイステアケーブル) は、10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上のものをご使用ください。

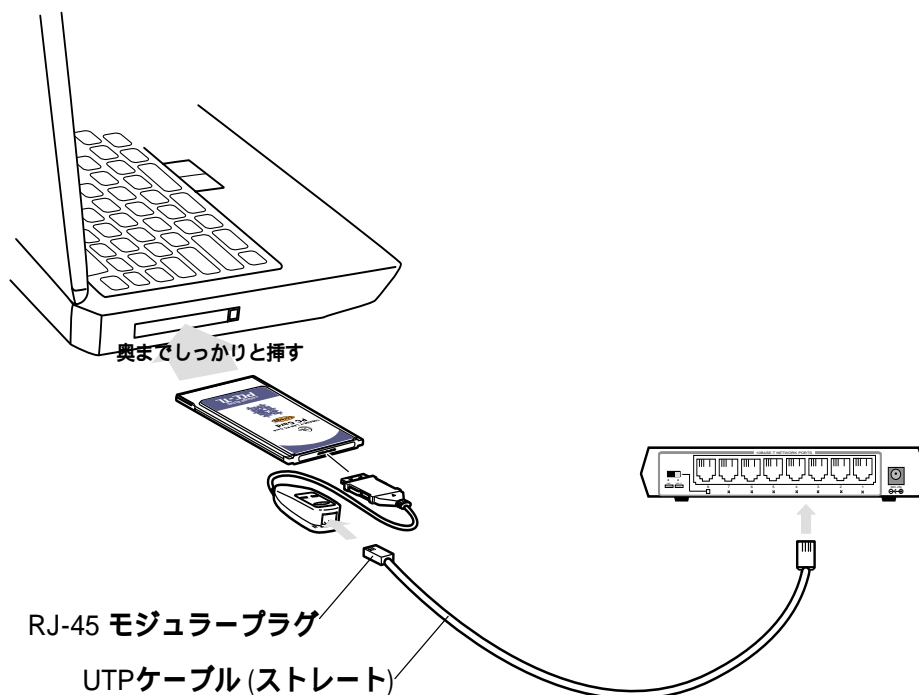
注意

3. UTP ケーブルを引っ張って抜けないことを確認します。
4. UTP ケーブルのもう一方の端のプラグをハブ (またはスイッチ) のモジュラージャックに差し込みます。手順は上記 (1)(2) と同様です。



接続した対向機器 (ハブまたはスイッチ) との状態が正常であれば、本製品 (corega Ether PCC-TL) 側は LINK/ACT LED が点灯 (緑) します。

注意



設置・接続の方法

UTP ケーブルの外し方

プラグのツメを指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

PC カードの挿入・取り外し

Windows NT では、パソコンの電源をオンにしたままカードの抜き差しを行うことはできません。PC カードの挿入・取り外しを行うときは、必ず以下の手順にしたがい、パソコンの電源がオフになっていることを確認した上で作業を進めてください。



誤ってパソコンの電源をオンにしたままカードの抜き差しを行ったために起こった障害についてはユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

PC カードの挿入

1. Windows NT を終了し、パソコンの電源をオフにします。
2. 「corega」のロゴが印刷された面を上にしてパソコンの PC カードスロットに挿入し、本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。



パソコンの機種によっては、下に向けて装着するものもあります。PC カード装着に関しては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

PC カードの取り外し

1. Windows NT を終了し、パソコンの電源をオフにします。
2. パソコンの PC カード取り外しボタンを押します。本製品が PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。Windows NT の各種操作については、Windows NT の取扱説明書やオンラインヘルプをご覧ください。



Windows NT のハードウェア互換性リスト (Windows NT パッケージに同梱されています) に記載されていないパソコンの機種で本製品をご使用になるときは、お客様の責任においてご使用ください。それらのパソコンの機種で本製品をご使用になるときは、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。



NEC PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になるときは、NEC によって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になるときは、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書では AT 互換機 / PC98-NX へのインストールを例にして説明します。



本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に進行することは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



Windows NT では、パソコンの電源をオンにしたままカードの抜き差しを行うことができません。本製品の抜き差しを行う際には必ずパソコンの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って電源をオンにしたまま本製品の抜き差しを行ったために起こった障害については、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。



本製品のドライバーをインストールする前に、Service Pack を適用されている場合は、「ネットワーク」設定後に再度 Service Pack を適用する必要があります。「ネットワーク」設定終了後「再起動」の確認メッセージが表示されましたら、「いいえ」を選択し、そのまま Service Pack を適用してください。

用意するもの

- ・ 本製品本体、UTP ケーブルなど
- ・ 本製品のドライバーディスク (CD-ROM)
- ・ パソコン (Windows NT 4.0 Service Pack 3 以上インストール済み)
- ・ Windows NT 4.0 の CD-ROM

次ページへつづく ➡

ドライバーの新規インストール

リソースの確認

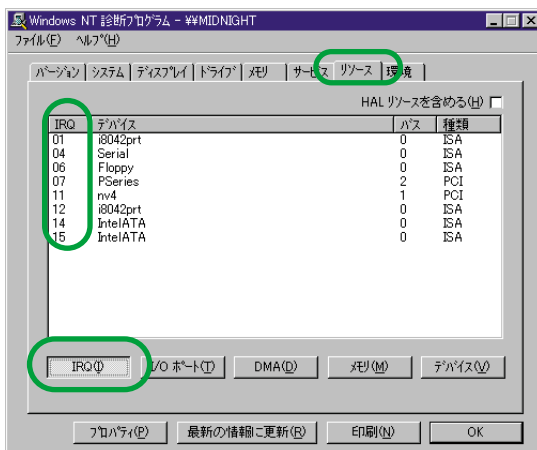
Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値をドライバーのインストール時に手作業で設定する必要があります。

本製品のドライバーが保持しているリソースの工場出荷時の値が、他のデバイスによって既に使用されているときは、重複を避けるため本製品の使用する値を変更します。設定はドライバーのインストール時に表示されるダイアログで行います。そのため、ドライバーをインストールする前に、下記の手順にしたがって値が重複していないかどうかを確認し、重複している場合は空いている値を記録しておきます。



リソースの使用状況は「Windows NT 診断プログラム」で確認しますが、同プログラムではパソコン内蔵デバイスのリソース使用状況を把握できないことがあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧になり、メーカーであらかじめ定められているデバイスの使用リソース値を確認してください。

1. Windows NT を終了してパソコンの電源をオフにし、本製品をパソコンの PC カードスロットに挿入します。
2. 本製品をネットワーク (LAN) に接続します (3 ページの「設置・接続の方法」を参照)。
3. パソコンの電源をオンにして Windows NT を起動します。
4. 「Administrator」権限¹ でログオンします。
5. 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
6. 「リソース」タブを選択します。「IRQ」(インタラプト)の使用状況が表示されます。



リソースの表示 (IRQ)

IRQ の空き状況を確認してください。工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は、以下の通りです (PC/AT 互換機、PC98-NX 共通)。



パソコンによっては使用している IRQ でも表示されない場合があります。詳しくはご使用のパソコンのメーカーにご確認ください。

IRQ

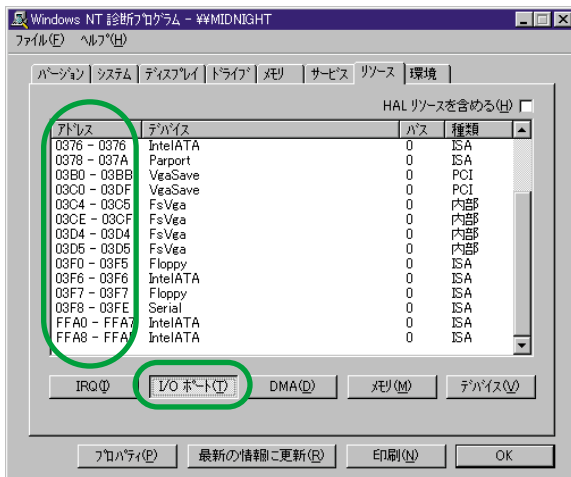
初期設定値 :5

設定可能値 : 2、3、4、5、10(A)、11(B)、12(C)、15(F)

次ページへつづく

1. Window NT では、「Administrator」(管理者)の権限がないと、デバイスドライバーの更新や削除、ネットワークの設定といったシステムレベルの作業ができません。

7. 「I/O ポート」をクリックします。



リソースの表示 (I/O ポート)

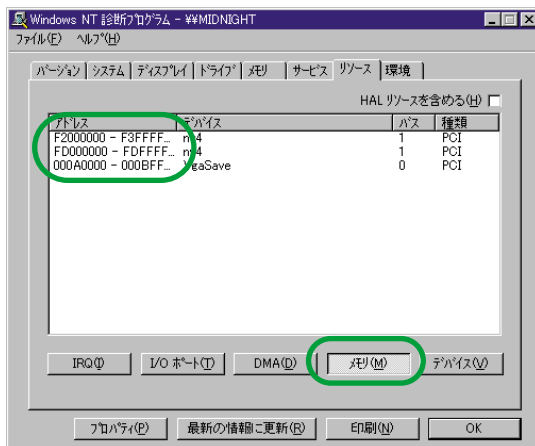
I/O アドレス (「アドレス」の先頭値) の空き状況を確認してください。工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は、以下の通りです (PC/AT 互換機、PC98-NX 共通)。

I/O アドレス

初期設定値 : 300

設定可能値 : 200、220、240、260、280、2a0、2c0、2e0、300、320、340、360、380、3a0、3c0、3e0

8. 「メモリ」をクリックします。



リソースの表示 (メモリ)

メモリ (「メモリ」の先頭値) の空き状況を確認してください。工場出荷時の値および設定可能な値の範囲は、以下の通りです (PC/AT 互換機、PC98-NX 共通)。

メモリ

初期設定値 : D0000

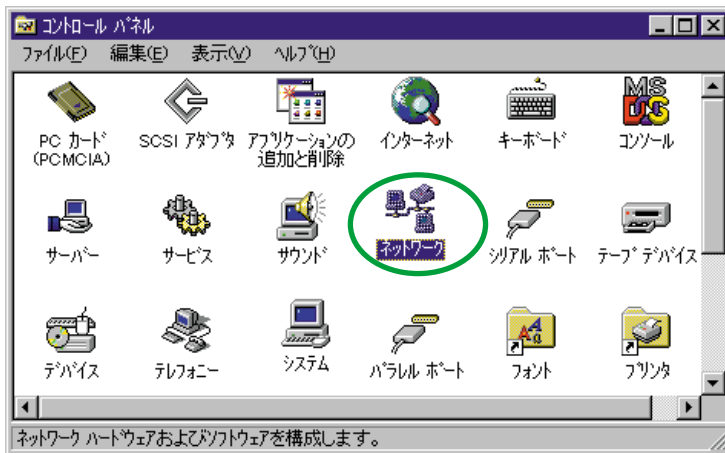
設定可能値 : C8000、C9000、CA000、CB000、CC000、CD000、CE000、CF000、D0000、D1000、D2000、D3000、D4000、D5000、D6000、D7000、D8000、D9000、DA000、DB000、DC000、DD000、DE000、DF000

9. Windows NT 診断プログラムを終了します。これでリソースの確認は終了です。

ドライバのインストール

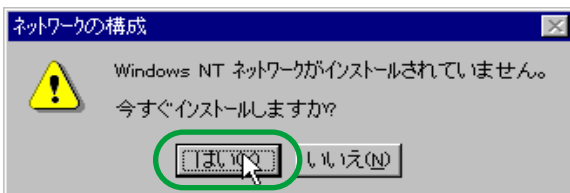
リソースを確認後、次にドライバのインストールを行います。

1. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。「コントロールパネル」「ネットワーク」アイコンをそれぞれダブルクリックします。



「ネットワーク」(コントロールパネル)

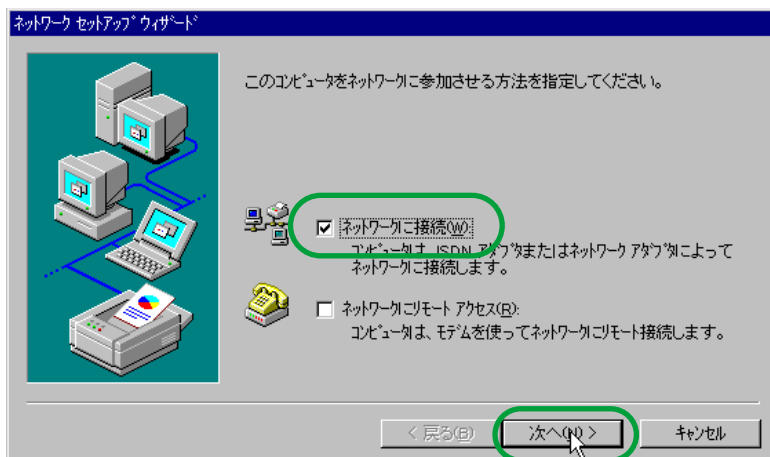
2. 「はい」をクリックします。



ネットワークへの接続確認

? 上の画面は、Windows NTのインストール時に「まだネットワークに接続しない」を選択したときに表示されます。この画面ではなく「ネットワーク」ウィンドウが表示されたときは、既にネットワーク関連のWindows NTファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」ウィンドウの「アダプタ」タブをクリックして「追加」を選択し、4の手順からインストールを開始してください。

3. 「ネットワークに接続」をチェックし、「次へ」をクリックします。



ネットワークに接続

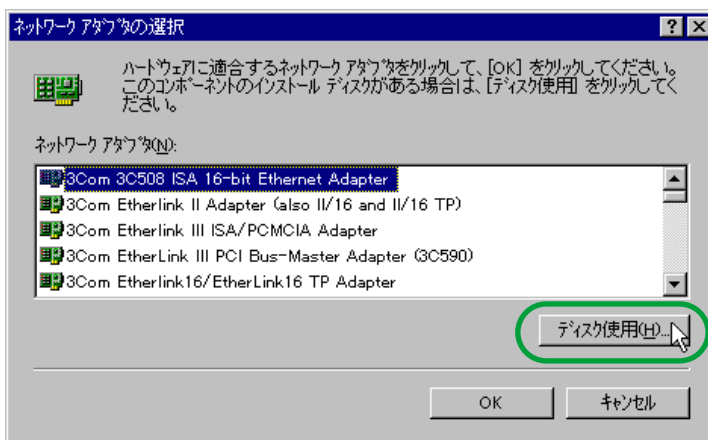
次ページへつづく ➔

4. 「一覧から選択」をクリックします。



ネットワークアダプタ選択

5. 「ディスク使用」をクリックします。



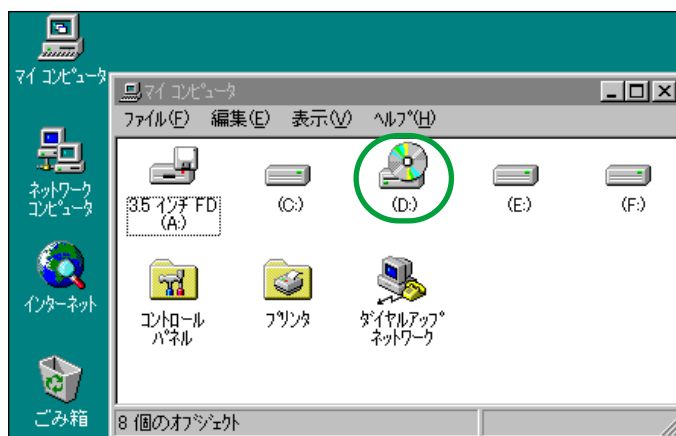
ディスク使用

6. 本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに挿入してください。



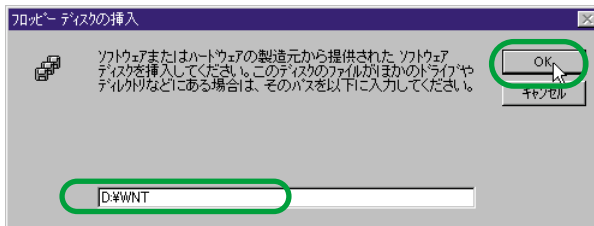
「マイコンピュータ」をダブルクリックし、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認してください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。

注意



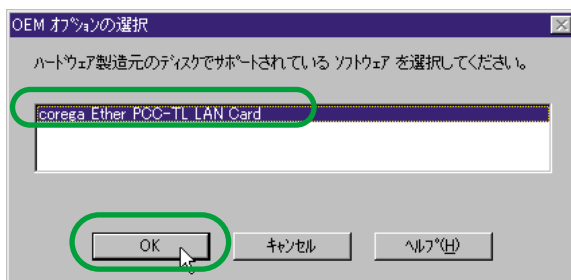
次ページへつづく ➡

7. 「D:¥WNT」と入力し、「OK」をクリックします。



ドライバー指定

8. 「corega Ether PCC-TL LAN Card」を選択し、「OK」をクリックします。



ドライバー確認

9. 「corega Ether PCC-TL LAN Card」をチェックし、「次へ」をクリックします。



ドライバー検索

10. 使用するネットワークプロトコルをチェックし、「次へ」をクリックします（詳細はシステム管理者にご確認ください）。ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックするものとします。



ネットワークプロトコルの選択

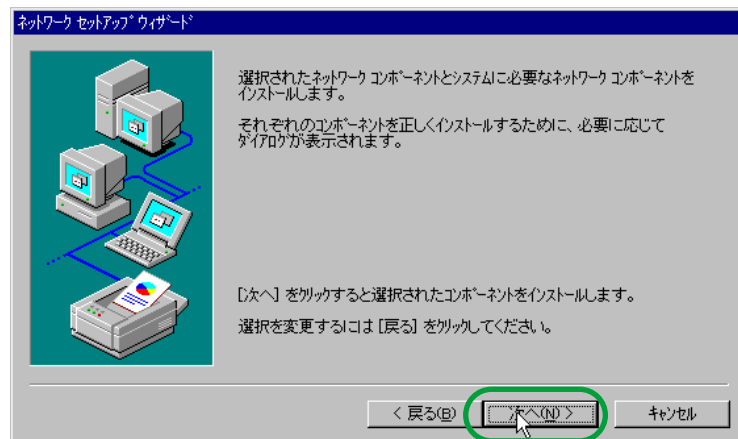
次ページへつづく ➡

11. 使用するサービスを設定し、「次へ」をクリックします。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。



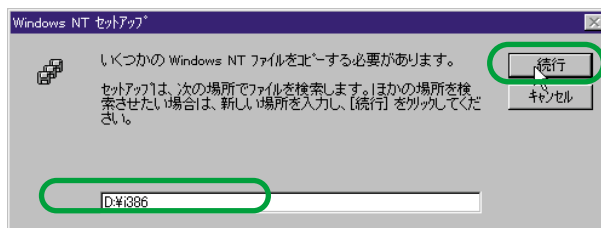
ネットワークサービスの選

12. 「次へ」をクリックします。



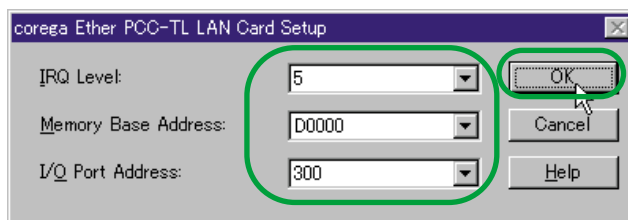
インストール確認

13. Windows NT の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows NT 配布ファイルへのフルパス (PC/AT 互換機、PC98-NX の場合は「D:¥i386」) を指定します (ここでは CD-ROM ドライブを「D:。」と仮定します)



Windows NT CD-ROM のパスの指定

14. 「IRQ Level」(インタラプト) と「Memory Base Address」(メモリ)、「I/O Port Address」(I/O アドレス) に他のデバイスと重複していない適切な数値を入力し、「OK」をクリックします。図中の値は一例です。

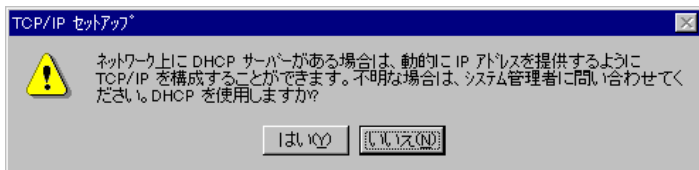


IRQ Number 設定

15. 本製品のドライバーおよび Windows NT ファイルのコピーが始まります。



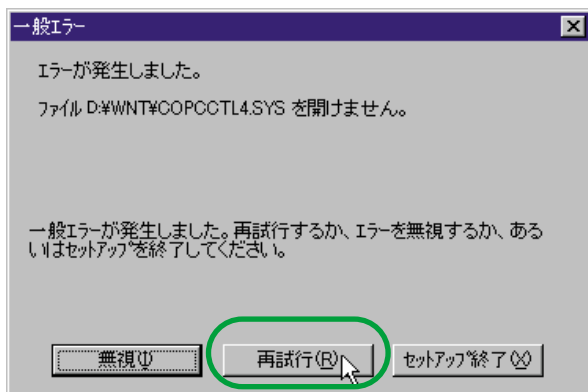
手順 10 で「TCP/IP」を選択したときは、ここで次の画面が表示されます。DHCP サーバーを使用しているときは「はい」、使用していない、あるいはよくわからないときは「いいえ」をクリックしてください。



DHCP メッセージ

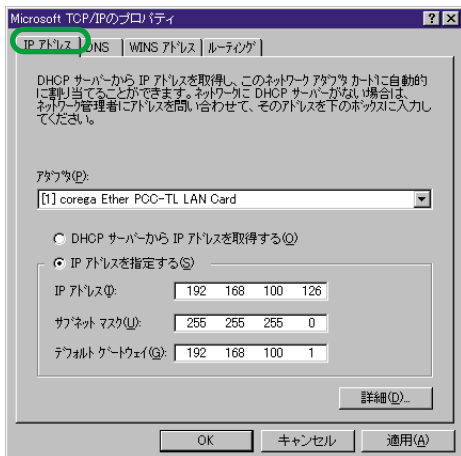


下記のようなエラーメッセージが表示された場合は、CD-ROM ドライブに本製品のドライバーディスクを挿入して「再試行」をクリックしてください。



エラーメッセージ

16. 「DHCP を使用しない」設定にしたときは、IP アドレスやサブネットマスクなどの IP パラメータを手動で指定する必要があります。次に入力例を示します¹。実際には、お客様の環境における値を入力してください。詳細については、システム管理者へお問い合わせください。

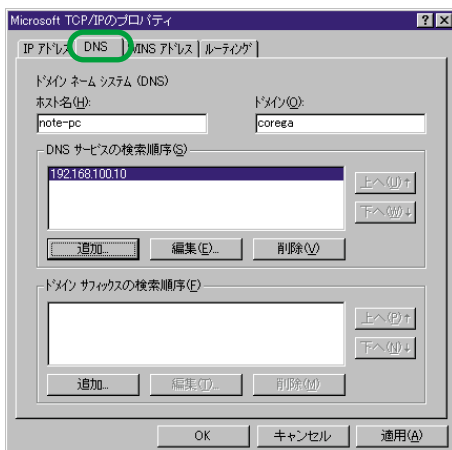


IP アドレスの設定



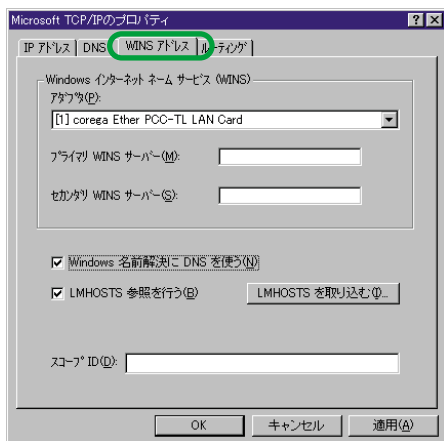
1. インストール終了後に IP パラメータの設定を変更するには、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「プロトコル」タブの「TCP/IP プロトコル」「プロパティ」ボタンと進みます。

17. DNS (Domain Name System) の設定を行います。「DNS」タブをクリックします。次に入力例を示します。ここでは、ホスト名「note-pc」、ドメイン名「corega」、DNS サーバー「192.168.100.10」を指定しています。詳細については、ネットワーク管理者へお問い合わせ下さい。




DNS 設定

18. 「WINS (Windows Internet Name Service)」の設定を行います。「WINS」タブをクリックします。次の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う」を指定しました。詳細はシステム管理者にご確認ください。



WINS 設定

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックします。これらの設定の詳細については、システム管理者にご確認ください。

 この画面は Windows NT 4.0 Workstation のものです。Windows NT Server をご使用のときは、さらに「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーについての詳細は Windows NT Server の取扱説明書またはオンラインヘルプをご覧ください。

19. 「次へ」をクリックします。



バインド等の変更

次ページへつづく 

20. 「次へ」をクリックします。



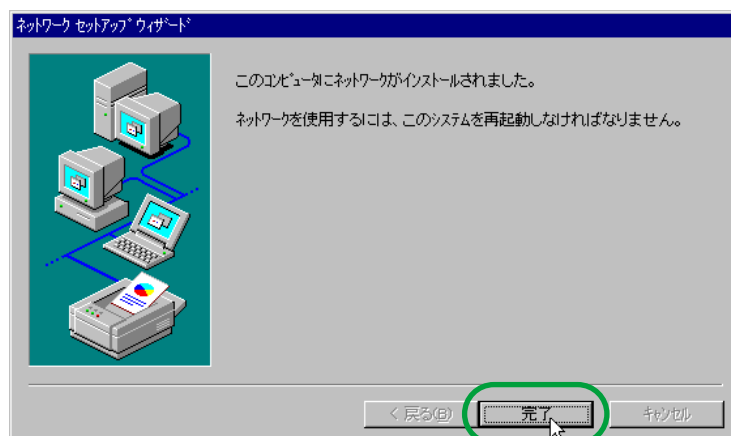
ネットワーク起動確認

21. Windows ネットワークにおけるコンピュータ名とワークグループ（あるいはドメイン）を指定し、「次へ」をクリックします。ここではコンピュータ名「MIDNIGHT」、ワークグループ「WORKGROUP」としました。詳細はシステム管理者にご確認ください。



コンピュータ名とワークグループ（ドメイン）設定

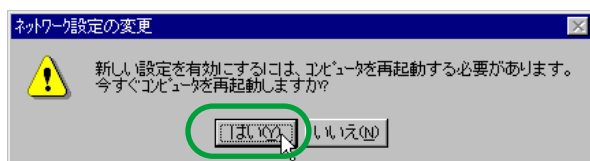
22. 「完了」をクリックします。



インストール完了



23. ドライバーディスクを CD-ROM ドライブから取り出し「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。
Service Packが適用されていた場合は、ここで「いいえ」をクリックし、再度 Service Pack 適用後、再起動します。

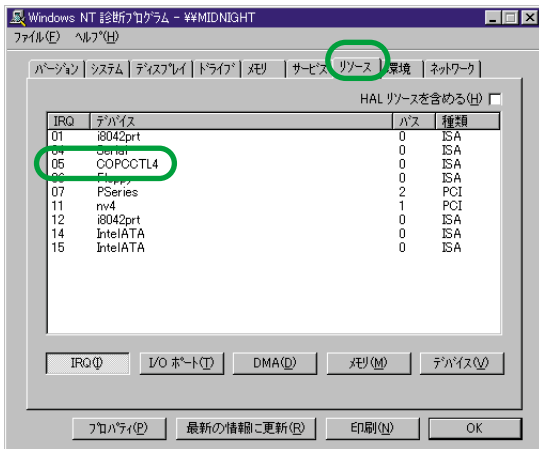


パソコンの再起動

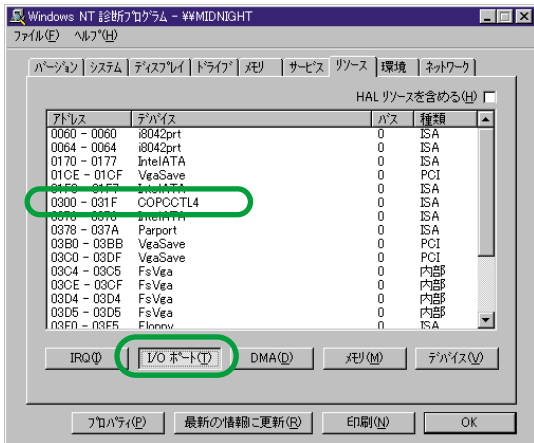
24. 以上でドライバーのインストールは終了です。続いて、「インストールの確認」に進みます。

インストールの確認

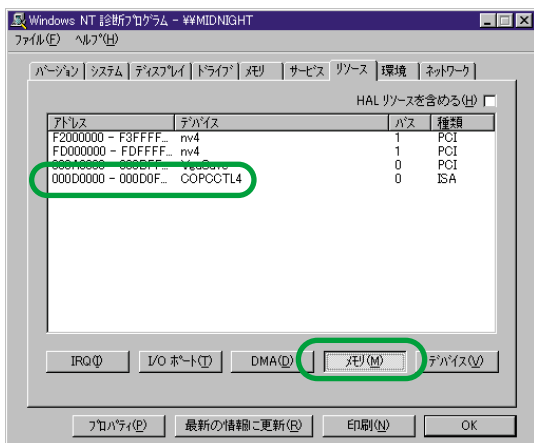
パソコンを再起動すると、本製品にリソースが割り当てられ、使用可能な状態となります。「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」を選択し、「リソース」タブをクリックします。デバイス欄に表示される「COPCCTL4」にインストール時に指定した値が割り当てられていることを確認してください。



リソースの確認 (IRQ)



リソースの確認 (I/O ポート)

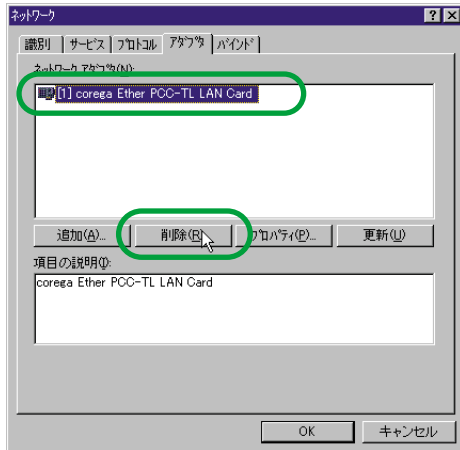


リソースの確認 (メモリ)

ドライバーの削除

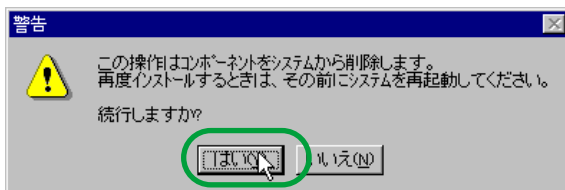
ドライバーの削除は、本製品をパソコンから取り外してしまいたいときなどに行います。¹

1. 「Administrator」権限でログオンしてください。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「アダプタ」タブをクリックします。
3. 「corega Ether PCC-TL LAN Card」を選択し、「削除」をクリックします。



ドライバーの削除

4. 「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。



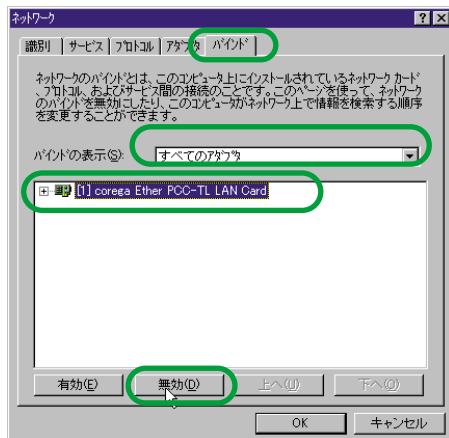
パソコンの再起動

1. ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません（一部の設定値、たとえば TCP/IP における IP アドレスなどは削除されます）。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

本製品を一時的に使用しないとき

ドライバーのインストール後、本製品を一時的に使用しないとき（例えば UTP ケーブルを本製品から外しているような場合）は、下記の手順にしたがって本製品のドライバーを無効にしてください。¹

1. 「Administrator」権限でログオンしてください。
2. 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「バインド」を選択します。「バインドの表示」で「すべてのアダプタ」を選択してください。
3. 本製品を選択し、「無効」をクリックします。本製品のアイコンが無効アイコンに変わります。使用を再開するときは、本製品のアイコンを選択し、「有効」をクリックします。



ドライバー無効指定

ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1. 16 ページの「ドライバーの削除」を参照の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブで「追加」をクリックします。7 ページから始まる「ドライバーのインストール」の手順 4 からインストールを再開してください。

1. ドライバーを有効なままにしておくと、Windows NT はこれをネットワークエラーとみなしてシステムログに記録します（ログは「スタート」 「プログラム」 「管理ツール」 「イベントビューア」などから閲覧可能）。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2002 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2002年5月 Rev.A 初版